

# メガシティにおける建築的緑化手法の研修

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月30日 ～2019年08月08日	日本	ラジャマンガラ工科大学 (タイ)、ラオス国立大学 (ラオス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工学専攻、建築工学科(修士2年生、学部3年生)</li> <li>・建設学部、建築学科(学部2年生、学部3年生)</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生13名、TA2名、教員1名 (ラジャマンガラ工科大学) 学生6名、教員1名 (ラオス国立大学) 学生7名、教員1名	清水郁郎(建築学科)



図1 本学及び参加校の参加者一同(GINZA SIXの屋上庭園で)

ラオス国立大学建築学部とタイ国立ラジャマンガラ工科大学プラナコン校建築デザイン学部を招聘して、国際交流プログラム「メガシティにおける建築的緑化手法の研修 Greening Tokyo」を実施しました。日・タイ・ラオス混成のグループ単位で都内の緑化先進事例を数多く実見し、植生の把握、植物管理の仕方、壁面緑化方法、屋上緑化方法、街路緑化方法をサーベイしました。それらから得た知見をもとに、豊洲キャンパスの緑化を3Dでデザインするという課題にチャレンジしました。タイ、ラオスの学生のCADのスキルはレベルが高く、日本人学生にはよい刺激となりました。新たな緑化案を提案するという作業では共通言語の英語を使いながら、どの班でも積極的に自分の意見を述べ、また、相手の意見を聞き、ディスカッションする光景がみられました。



図2 日・タイ・ラオス混成のグループワーク



図3 壁面緑化サーベイ



図4 グループ内でのディスカッション